

MONTHLY NEWS LETTER ★ 2019年2月25日号

2月は日本企業も関わるモザンビーク北部天然ガス開発地区で米国石油企業アナダルコがイスラム過激派と見られる集団に攻撃されるなど、資源開発を巡る不穏な動きがまだまだ続いています。今のところ、ペンバは平穏。泥棒や強盗は増えており、水不足も続いています。平和な毎日を過ごしています。

Topic <1> **スラムの学び舎・寺子屋のこども教育**



3月には日本の若者たちがミュージカルを教えに来る予定なので、こども会議を開き、参加する人やスケジュールを決めています。



Topic <2> **ナティティ事務局のこどもたち**



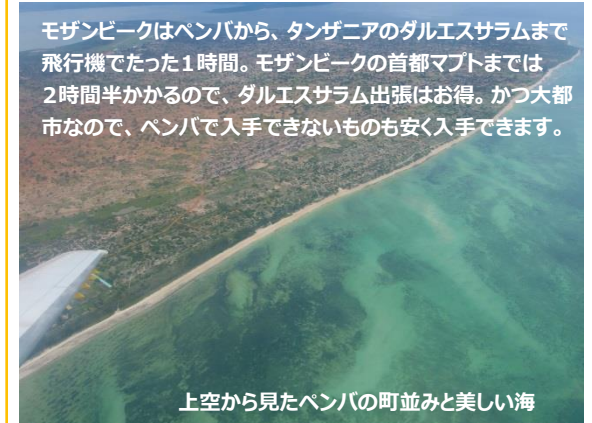
事務局にモリンガとレモンの苗を移植し、豆も植えました。豆は翌日には芽を出し急成長ですが、モリンガが雨に流されてしまいました。モリンガ育成難航中。

読み書き勉強



夜、お腹を減らした子どもたちがやってくるので、一緒に料理します。

DAR **タンザニア・ダルエスサラム出張**



モザンビークはペンバから、タンザニアのダルエスサラムまで飛行機でたった1時間。モザンビークの首都マプトまでは2時間半かかるので、ダルエスサラム出張はお得。かつ大都市なので、ペンバで入手できないものも安く入手できます。

上空から見たペンバの町並みと美しい海

ダルエスサラムでは日本の企業・団体の方たちと面談し、政治・経済に関する情報収集。またマコンデ族の人たちにも集合いただき、タンザニア側とモザンビーク側のマコンデ族の文化の違いや舞踏の種類と歴史についてお話を伺いました。



マコンデ族集合



マコンデ族の伝統的な入れ墨を顔全体に入れている65歳の女性。1970年台以降は、入れ墨を入れる習慣も消滅してしまったということです。



一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会
日本事務局：福岡県北九州市小倉南区朽網西3-12-6
ペンバ事務局：Rua sem Saida, Bairro de Natite, Pemba, Mozambique
ホームページ <http://www.tsunagukai.com/>

口座番号

<ジャパネット銀行>
本店：001 (普)4133553 エノモトメグミ
<三井住友銀行> 天神町支店：717 (普)1920099
モザンビークのいのちをつなぐ会 代表 榎本恵